

国保年金課長の仕事宣言！ 進行管理表

国保年金課長 林 吉 治

<p>重点事業の概要 [事業名：特定健診・特定保健指導事業]</p> <p>[目標値：平成 27 年度までに、特定健診受診率 50%、特定保健指導実施率 52%]</p> <p>○この事業は、リープロ「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「医療費の適正化に努めます」を達成するために特定健診・特定保健指導を実施する事業です。具体的には、生活習慣病の予防に向けた基本的な健診を行い、この特定健診の結果をもとに生活習慣病の発症や重症化の可能性のある人に対し、食生活や運動などの生活習慣改善及び医療機関への受診勧奨などの保健指導を行い、健康寿命を延ばすことにより市民が健やかで心豊かな生活を送ることができ、安心して医療が受けられるようにするものです。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センターを 3 回増やし集団健診を年 16 回実施 (9 月末 12 回) ○まちづくり推進センターでの受診者増のため、従来の広報に加え次の点を改善 <ul style="list-style-type: none"> * 健診案内にまちづくり推進センターの住所番地を追加、封筒にも日程のシールを貼付 * 地区実施 1 カ月前に対象地区に全戸回覧で広報チラシを配布 ○未受診者への対応として、未受診者への勧奨訪問・通知等を改善 <ul style="list-style-type: none"> * 本年度未受診者への受診勧奨通知の発送時期を 10 月から 8 月に前倒しし、2 種類で一律の内容だった通知を過去受診歴等で 3 グループに分け 3 種類の通知をカラーで作成 * 一部地区で実施前に地区未受診者への受診勧奨訪問・通知等を実施 * 長期未受診者は病気等で受診困難な人が多いため、未受診者訪問の対象者を絞り込み
	自己評価	特定健診の受診者数が前年度同期より増加した ・ 9 月までの集団健診と 8 月までの個別健診の合計受診者数が前年同期比 270 人、19.3%増 ・ まちづくり推進センター 6 地区とも受診者が増加 (前年同期比 97 人、41.5%増)
	下半期への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月中旬に 11 月末での未受診者に 2 回目の受診勧奨通知を発送 ・ 効果的・効率的な保健事業実施のため、健康・医療情報を活用したデータヘルス計画を作成 ・ 長期未受診者で前年の勧奨訪問で受診し、本年未受診者へ訪問や電話で受診勧奨
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○上半期に引き続き未受診者への受診勧奨訪問を実施。受診勧奨の効果が上がるように対象者を 3 分類に絞り、看護師 2 人体制で訪問、不在時はチラシを投函し、後日、再訪問 ○2 回目の受診勧奨通知を 11 月(集団健診終了月)末現在の未受診者へ 12 月発送 ○データヘルス計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> * 健康増進課と共同で佐賀県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会の助言・指導を受けながら作成(3 月末完成、次年度 4 月から事業実施)
	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の受診者数が集団健診、個別健診共に増加した <ul style="list-style-type: none"> * 12 月末現在前年度同期比 4.6%増(集団健診 2.0%増、個別健診 5.9%増) ○受診勧奨訪問が対象者の絞り込みや看護師の増により、不在時の再訪問、柔軟な訪問時間帯の設定等きめ細かい訪問が可能になり、本人や家族に会える確率も高まった
	目標値の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診率：30.0% (対象者 9,650 人 受診者 2,896 人) (12 月末現在) <ul style="list-style-type: none"> * 平成 26 年度の目標値 45% 現時点の達成率 66.7% (平成 25 年度実施率 37.7%) ○特定保健指導終了者:0.07%(対象者 291 人 保健指導中 170 人 終了者 20 人) (1 月末現在) <ul style="list-style-type: none"> * 平成 25 年度の目標値 48% 現時点の達成率 0.1% (平成 25 年度実施率 30.3%) ・ 保健指導は健診結果から 6 か月経過期間が必要なため、現時点での終了者は 20 人
	次年度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○尿検査は早朝尿が精度が高く、起床直後に採尿し持参してもらうため対象者に検尿セットを送付 ○二次医療機関での休日健診の前に周辺地区に広報のチラシ等を配布することを検討 ○受診率の低い地区で、地区まちづくり推進センターでの健診日直前での未受診者訪問や広報の実施 ○データヘルス計画の事業実施。毎年度効果等を検証して必用に応じ事業や計画を見直し

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

糖尿病や高血圧などの生活習慣病を早期に発見し重症化を防ぐためにも、特定健診が重要です。健診の広報、啓発に努め、休日健診や家庭訪問による受診勧奨などにより、受診率の向上に取り組むこと。健診の結果、高血圧、高血糖などのハイリスク者への家庭訪問による保健指導を充実させること。

下半期

健康長寿のまちを実現するため、特定健診の受診率向上、保健師のハイリスク者への家庭訪問による保健指導に引き続き努めること。次年度からのデータヘルス計画の事業実施に向け、準備していくこと。